

令和5年度

自己評価表

大阪動物専門学校は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和5年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎の沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在學生から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。
- 1988年 情報管理学科を設置。情報処理分野の国家・検定試験においても次々と快挙を成し遂げる。
- 1989年 大阪IT会計専門学校、大阪法律専門学校開校。
- 1990年 日本スクールオブビジネスが開校。マルチメディア、スポーツ、トラベル、医療などの総合ビジネス学園として、新たな一步を踏み出す。
- 1993年 公認会計士試験11年連続専門課程現役合格達成。
- 1994年 東京法律専門学校より、司法試験史上初の専門学校生現役合格者が誕生。
- 1995年 専門課程在學生から経済産業省ソフトウェア開発技術者試験79名、基本情報技術者試験462名現役合格。情報処理分野においても名門の地位を確立。
- 1996年 経済産業省において、25歳未満の人が受験できる最上級レベルの経済産業省テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に専門課程在學生から2名の現役合格者を輩出。
- 1997年 東京IT会計専門学校杉並校、東京法律専門学校杉並校、東京IT会計専門学校名古屋校、東京法律専門学校名古屋校開校。
- 1998年 日本スクールオブビジネス21、東京IT会計専門学校仙台校、東京法律専門学校仙台校開校。
公認会計士試験、税理士試験において専門課程在學生から全国最年少合格を輩出。
- 1999年 東京では11年ぶりの私立の新設高校として、立志舎高等学校を開校。
専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2001年 簿記大会にIT部門を新設。全国高等学校IT・簿記選手権大会となる。
- 2002年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格。さらに、IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2003年 専門課程在學生から司法試験現役合格。東京IT会計法律専門学校横浜校、東京IT会計法律専門学校大宮校開校。専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2004年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格(3年連続)含め6名現役合格。公認会計士試験、経済産業省情報セキュリティアドミニストレータ試験、テクニカルエンジニア(ネットワーク・データベース)試験、ソフトウェア開発、基本情報技術者試験等IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2005年 京都IT会計法律専門学校、大阪IT会計専門学校天王寺校、大阪法律専門学校天王寺校開校。

- 2006年 日本動物専門学校、専門学校日本動物 21 開校。全国高等学校 IT・簿記選手権大会に FE 部門を新設。専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。
- 2007年 東京 IT 会計法律専門学校千葉校、大阪動物専門学校開校。
- 2008年 専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。経済産業省高度情報処理技術者試験に 34 名現役合格等の合格実績をあげる。大阪動物専門学校天王寺校開校。
- 2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に 36 名現役合格等の合格実績をあげる。
- 2010年 国税専門官試験 26 年連続現役合格達成。
- 2014年 立志舎グループの各校が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。
- 2020年 立志舎グループの各校が高等教育の修学支援新制度の対象校として認定される。
- 2021年 校名を東京 IT 会計専門学校から東京 IT プログラミング&会計専門学校へ変更した。
- 2022年 専門学校日本動物 21、日本動物専門学校、名古屋動物専門学校、大阪動物専門学校、大阪動物専門学校天王寺校が、愛玩動物看護師法（令和元年法律第 50 号）第 31 条第 2 号に基づく愛玩動物看護師養成所の指定を各都府県知事から受ける。
- 2023年 公認会計士試験現役合格 31 名、税理士試験現役合格 4 名
 法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来 17 年連続現役合格
 経済産業省高度情報技術者試験（データベース・ネットワーク・情報処理安全確保支援士・プロジェクトマネージャ）現役合格 41 名
 応用情報技術者試験現役合格 83 名
 基本情報技術者試験現役合格 415 名
 総合旅行業務取扱管理者試験現役合格 23 名
 国内旅行業務取扱管理者試験現役合格 103 名（入学後半年合格 89 名）
 国家公務員一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格 1,006 名、
 公務員初級等現役合格 4,884 名／警察官・消防官・自衛官現役合格 3,132 名
 （2023 年 3 月卒業生 高校卒業生対象専門課程／一次筆記合格のべ）
 民間企業就職率 99.47%（2023 年 3 月卒業生 高校卒業生対象専門課程）

2. 学校の教育目標および特色

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。

文化・教養専門課程においては、愛玩動物看護師法に基づき、愛玩動物を対象とした動物看護師の専門知識及び技術の習得により資質の向上を図り、広く教養を高め社会に貢献しうる愛玩動物看護師を養成することを目的とする。

本学の特色は、独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。これにより、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識と技能を身に付け、動物関連企業のみならず異業種企業や官公庁にも就職している。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ. 学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入している。これにより、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、動物系企業をはじめとして異業種企業や官公庁への就職実績を両立している。

また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、合格、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」の実現を基本目標としている。

学務システム（入試システム及び学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。学務システムは、仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。また、全教職員にパソコンを貸与し情報共有の効率化並びに業務改善に取り組んでいる。学生に対してはMicrosoft アカウントを付与し、オンライン授業等行える環境を整えている。インボイス制度や改正電帳法に対応するため、BillOne を導入した。

また、学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を令和元年度より立ち上げ、今年度も改善を行っていく。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
ヌ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学では、各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするだけでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をはぐくみ育てている。

学生の成績評価および単位認定については、その基準を明確に定め、学則、専門課程便覧などで学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また、成績評価および GPA の算定については本学ホームページ上にも公開している。

新入生就職セミナーでは、挨拶の練習、職員による講座、外部講師による講演等を通じ、社会人に向けての意識付けをしている。1年次に、約1週間のインターンシップを企業等と連携し行っている。

学生は、学内就職セミナーで企業の人事担当者から「求める人材像」などの話を直接聞くことができる。学内就職セミナーを令和6年2月6日・7日に実施した。

動物看護学科は、愛玩動物看護師法が定める養成所として指定を受けている。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ロ. 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ハ. 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

新入生就職セミナーをはじめ就職・公務員ガイダンス、自己理解セミナー、学内就職セミナー、インターンシップ等を行っている。学内就職セミナーには各業種の企業等に参加していただいている。

コース毎に目標とする資格を明確にし、過去の経験に基づきカリキュラムを組み立て、ゼミ学習で授業を進めており。その結果が成果として現れている。

担任に話すことが難しい場合、相談できるように学生相談室を設置しており、匿名の電話でも相談できるようにしている。退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけ、学生が楽しく学校へ来られるように取組んでいる。

無断欠席者には、担任が学生本人および保護者への電話連絡、出席状況のお知らせ等の書類送付で保護者とも連携を図り、欠席が長期にならないようにしている。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
ト. 保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

学生の希望に沿ってインターンシップを実施している。これによりペットショップ、動物病院、ペットサロン、犬の訓練所をはじめ動物業界の就職先開拓につながっている。

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっており、匿名での電話相談にも応じている。本学の特別奨学生試験、各種特待生制度は貸与ではなく給付である。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
ハ. 防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

施設・設備は学生の教育上支障がないように整備されている。パソコンは、5年毎に更新している。今年度は、犬のトイレの工事を行った。今後も施設・設備の更新計画を検討する。

災害時対応のみならず、不審者対応も含め危機管理マニュアルを作成し、対応する。法令に準拠して見直しをしていく必要がある。

(7). 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
ハ. 学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

AO入学に関しては本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学教育内容の理解度、入学後のやる気を中心に合否の判定を行っている。

本学のホームページは、スマートフォンへの対応も行っているため、スムーズに情報が入手できる。また、ブログ、LINE公式アカウント、X、Facebook、Instagram、YouTubeを利用した情報提供を行っている。

法人単位での財務情報の公開体制を採っており、学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

(8). 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
ニ. 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、教職員に対し法令遵守規程を設けて徹底させ、必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布するなど、法令や設置基準を遵守するために法令遵守規程を作成し実施している。また、学生に対しても入学時に配布する専門課程便覧に「ソーシャルメディアガイドライン」、「ハラスメント防止ポリシー」を記載して法令、道徳指導を適宜実施している。

個人情報保護に関しては、特定個人情報管理規程、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底し、学生には担任を通じて個人情報の取扱いについて注意喚起を行っている。

本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、学校評価研究機構の基準により点検、評価を行っており、その結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。

② 今後の改善方策

学校の教育資源や施設を活用した地域社会との連携を強化する。

③ 特記事項

地域との連携、交流、諸外国の学校などとの連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点で、高齢者施設でのドッグセラピー活動や家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを実施している。また、学園祭に家庭飼育犬オーナー様を招待し、本学のドッグトレーナー講師による「ワンちゃんライフ講習会」をはじめ様々なペット向けの催し物を開催、そして浜寺公園振興協議会から依頼を受け、浜寺ローズカーニバルで犬のふれあい広場を設置し、地域との連携を行っている。

重要な社会問題については、学生へ情報提供し、学校全体で省エネ、エコ活動に取り組んでいる。

地域社会への貢献は、大淀中学校や近隣の中学校から動物の仕事に興味を持っている生徒のインターンシップを引受け職業体験の実施をしており、学園祭では地域住民の方を招待し地域活性化に協力している。また、キヤノンメドテックサプライ株式会社や学際企画の依頼を受け、獣医師向けのエコセミナー会場(2023年大阪エコハンズオンセミナー)として実習室を提供し、当日は動物看護コース在籍の学生がサポートに入った。今後も継続して地域の企業との連携をしていく。

学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。